

5-5

演題	栄養マネジメント強化加算を始めて
副題	～管理栄養士 2.2 人配置の効果と今後の展望～

介護報酬改定
QOL 向上

法人名	社会福祉法人 日本医療伝道会
施設名	特別養護老人ホーム 衣笠ホーム

発表者名 (職種)	松宮 さきく 栄養士
共同発表者	村上 まさみ
共同発表者	中村 靖
共同発表者	藤川 亜沙美
共同発表者	木村 麻美子

都道府県	神奈川県
住所	横須賀市芦名 2-4-1
TEL	046-856-7101
FAX	046-856-7109
メールアドレス	home@kinugasa.or.jp
URL	

今回の発表施設 またはサービスの 概要	当ホームは衣笠病院グループ内の施設で、本入居 110 床ショートステイ 10 床の特別養護老人ホームです。衣笠病院はじめ、グループ内各施設と連携し地域に根差したサービスを提供しております。
---------------------------	--

研究の目的、PR ポイント

令和 3 年度介護報酬改定に伴い、栄養マネジメント強化加算の算定基準を満たす管理栄養士 2.2 人を配置した。他職種とのかかわりや入居者の QOL の向上、収益への貢献などについて評価し、今後の展望を示す。

取り組んだ課題

- ・管理栄養士 1 人で栄養管理を行っていたため、他職種や入居者とかわる時間が十分に持てなかった。
- ・管理栄養士を増員し栄養マネジメント強化加算を算定した。

具体的な取り組み

- ・他職種との情報交換
- ・入居者と関わる時間の確保
- ・食行事の開催
- ・介護記録システム上へのミールラウンド記録入力
- ・職員研修の開催
- ・加算算定数の増加

活動の成果と評価

① 他職種へのアンケート (n=43)

【結果】 肯定的な意見のみ

- (1) 他職種との関わりが増えた…92%
- (2) 入居者との会話が増えた…100%
- (3) 食行事が増えた…83%
- (4) ミールラウンド記録を知っている…97%
- (5) ミールラウンド記録を業務に活用している…66%

② 職員研修の開催

【結果】

とろみ飲料作成についての研修を開催… 4 回実施、45 名参加

正しいとろみ調整の知識が深まり、安全なとろみ飲料を提供することにつながった

③ 加算算定数の調査

【結果】

- (1) 栄養マネジメント強化加算…入居者全員に対し

て算定開始

363,000 円 / 月

- (2) 経口維持加算 I …令和 4 年 4 月より算定再開
104,000 円 / 月 (令和 5 年 4 月現在 26 人算定)
管理栄養士を 1.2 人増員した給与などの費用以上の収益が出ている。

④ 入院者数への影響

【結果】

- (1) 尿路感染症…1/4 へ減少
- (2) 誤嚥性肺炎…1/2 へ減少
- (3) 脱水症…2/3 へ減少

入居者との関わりが増え、管理栄養士が状態変化に即時に気づくことができるようになったことや経口維持加算 I 算定の再開、職員研修の実施により正しい知識を周知できたことが入院者数を減らすことに寄与したと考えられる。

今後の課題

今後も他職種と協働して、入居者一人ひとりに寄り添う栄養管理を行っていききたい。食行事についてはポスターなどで周知を図り、他職種も巻き込んで行事を盛り上げていけると良いと考える。

さらにミールラウンド記録は、実際に活用している職員に話を聞き、より多くの職員に活用してもらう方法も検討していきたい。

管理栄養士を 1.2 人増員しても栄養マネジメント強化加算で給与分を賄うことはできている。経口維持加算 I の算定数を増やしたり、職員研修にて正しい知識を周知したりすることが入院抑制につながれば、施設の収益にさらに貢献できると思われる。

また、施設内の多目的スペースにて開催予定の認知症カフェや市民講座等などにも積極的に参加し地域高齢者との関わりも大切にしていきたい。